新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	GAP 2 カップ®を用いた人工股関節全置換術の中長期成績
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
【対象】 選択基準：新潟大学医歯学総合病院にて 2002 年 1 月から 2016 年 12 月の間に GAP 2 カップを使用した人工股関節全置換術および再置換術例で 5 年以上経過観察が可能であったもの（約 50 関節） **【研究期間】** 新潟大学医学部倫理審査委員会承認後から2025年3月31日まで **【過去の研究課題名】**なし	
③概要	
人工股関節全置換術および再置換術において寛骨臼コンポーネントの母床となる骨盤骨が欠損していることが少なくなく、その際に寛骨臼を補うために金属製のサポートリングがしばしば使用されます。当科ではこのような場合に以前からストライカー社製の GAP 2 カップを用い、5 年程度の中期に関しては良好な成績であることを報告してきました。 本研究の目的は GAP 2 カップを使用した人工股関節全置換術および再置換術の中期～長期成績を調査することです。	
④申請番号	2021-0346
⑤研究の目的・意義	人工股関節全置換術および再置換術において寛骨臼コンポーネントの母床となる骨盤骨が欠損していることが少なくなく、その際に寛骨臼を補うために金属製のサポートリングがしばしば使用されます。当科ではこのような場合に以前からストライカー社製の GAP 2 カップを用い、5 年程度の中期に関しては良好な成績であることを報告してきました。類似したサポートリングの中長期成績は報告されていますが、GAP 2 カップに関する報告はあまり見られません。 本研究の目的は GAP 2 カップを使用した人工股関節全置換術および再置換術の中期～長期成績を調査することです。
⑥研究期間	新潟大学倫理審査委員会承認後から2025年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	研究に用いる X 線画像は通常の診療で使用されたものであり、本研究に特殊な一般診療から逸脱したものではありません。また、対象者に不利益が生じることはないと考えられます。利用は当院のみで行います。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会

	や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	新潟大学医歯学総合病院にて 2002 年 1 月から 2016 年 12 月の間に GAP 2 カップを使用した人工股関節全置換術および再置換術例
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科　健康寿命延伸・運動器疾患医学講座および整形外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科　健康寿命延伸・運動器疾患医学講座　今井　教雄
⑪お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科　健康寿命延伸・運動器疾患医学講座　今井　教雄　025-227-2272 imainorio2001@med.niigata-u.ac.jp